



令和5年度 武生第六中学校スクールプラン

越前市教育方針 **【人間力を高める教育】**

- 1 生命を尊び生きる喜びをもっていかなる人とも等しく心を分かち合える人を育てる。
- 2 常に学ぶことと未来を拓く想像力を培い、正しい判断と確かな実践のできる人を育てる。
- 3 互いを敬愛し豊かな情操を養い、ともに働く喜びと感謝・奉仕の精神にみちた人を育てる。
- 4 健康な食生活をもとに自らの健康と安全を保ち、強くたくましく生き抜く人を育てる。
- 5 郷土の伝統、文化、自然、人間に誇りをもち、広く社会に貢献できる人を育てる。

学校教育目標

確かな学力、豊かな心、健やかな体をそなえた生徒の育成

〈研究主題〉

自ら学び、自分の良さに気づき、互いに認め合う生徒の育成

【校訓】 自主・鍛錬・実践

【めざす教師像】

- 1 教育のプロとして常に自己研鑽に励み時代に即した教育の実現を目指す教師
- 2 豊かな人間性と人権感覚を持つ教師
- 3 生徒・保護者・地域に信頼される教師
- 4 連携と協働を図る教師

重点目標

A「確かな学力」

- ① 自ら学ぶ意欲と態度の育成
- ② 学習課題への取り組み方の改善
- ③ 読書活動の推進

B「豊かな心」… ※「生徒会 無我六中」

- ◎ 自己決定の場を与え、自己存在感を育成し、夢や目標に向かう意欲の向上
- 共感的人間関係を育成し、いじめ・不登校の未然予防や早期解決に努める。

C「健やかな体」

- ◎ 健康教育の充実や安全教育の推進による、自他の命や安全を守る意識の高揚（危機管理意識を高める）
- レジリエンス（立ち直り力）の育成

D「地域と協働・連携した学校づくり」

- ◎ 地域貢献ができる生徒の育成を目指した地域と進める体験活動の推進
- 家庭・地域・学校の連携・協力

具体的な取組

- ① 学習意欲が継続し、わかる授業の改善に努める。ICT活用推進グループ、学年チームで研修体制を充実させ、授業改善を推進する。
<授業が好きか、わかるかのアンケート>
- ② 目的をもって意欲的に学習課題（家庭学習を含む）に取り組む生徒の育成を図る。（わくわくプリント、デジタルドリルなどの工夫と活用）
- ③ 朝読書や巡回図書、デジタル新聞を活用し、読書が身に付く環境作りに努める。また、ビブリオバトルでプレゼンテーション力を高める。

- ① 生徒とともに作る学校行事、生徒会活動や学級活動などの充実を図る。また、夢や目標をもち、生き生きと活動する特色ある学校づくりを推進する。
<学校が楽しいか、みんなで何かをするのは楽しいかのアンケート>
- ② 道徳教育の充実を図り、人権意識を高める。いじめ・不登校の未然予防、早期解決（調査・観察・声かけ・六中手帳でのやりとり等）に努める。

R5生徒会スローガン「無我六（む）中」
我を忘れるくらい本気になる六中を創る

- ① 健康教育を充実させる…気力・体力の向上、食育、レジリエンス（立ち直り力）等の育成に努める。
- ② 安全教育を推進する…生徒自身が主体的に考え、危険予測・回避能力が身に付く指導を行う。（各種訓練等、安全教室、情報モラルなど）
- ③ 困り感を随時伝えられる機会を確保し、事案にはチームで即日対応する。SCを活用した研修や調査、教育相談で、レジリエンスを高める。

- ① 地域の「菊名人」人材を活用し、学校の伝統である大菊栽培を継承、たけふ菊人形への出品等、地域貢献する。
- ② 全学年でふるさと教育を計画的に実施し、地域での体験活動を推進する。
夏 3年：おうしお夏祭りでの生徒企画
秋 2年：地区敬老会文化祭での活動
冬 1年：王子保駅イルミネーション制作
- ③ 生徒をよく見取り、よいことも気がかりなことも保護者と連絡を密に取り合う。たよりや HP 等で学校活動を発信する。

数値目標

- ★ 授業がよくわかる生徒 ⇒ 50%
- ★ 話し合いに参加し、発表したり、質問したりして主体的に学習に取り組んでいるという生徒 ⇒ 80%以上
- ★ 目的意識をもって授業や課題（家庭学習を含む）に取り組んでいるという生徒 ⇒ 90%以上

- ★ 約束を守ることや、自主的に行動することを意識して生活している生徒 ⇒ 90%以上
- ★ 自分や仲間の良さを見つけながら、自分の役割や責任を果たしている生徒 ⇒ 90%以上
- ★ 人が嫌がるようなことをしたり言ったりしないよう気をつけて、友達と仲良くしている生徒 ⇒ 100%（いじめ解消100%）

- ★ 体力の向上や心身の健康に気を配り、健康な生活を送るよう努めている生徒 ⇒ 90%以上
- ★ 困ったことや悩みがあるときは相談する相手がいるという生徒 ⇒ 90%以上

- ★ 地域に役立つことを考えることができたと思う生徒 ⇒ 85%以上
- ★ Home&School や HP で学校の様子がよくわかる保護者 ⇒ 85%
- ★ 学校と連携が取れていると思う保護者 ⇒ 80%以上

業務改善：Home&School や Microsoft を活用したDX化、ペーパーレス化。
タブレット端末活用の文書等の効率化。部活動・会議等の適正な時間設定。